

司書職の中核にある価値観

原文 Core Values of Librarianship. (2019)

Retrieved February 5, 2021 from

<http://www.ala.org/advocacy/intfreedom/corevalues>

日本語訳 藤原芳行（立教大学図書館 前事務部長）

中村百合子（立教大学図書館長）

現代の司書職の基盤は、私たちの専門的な実践を定義し、周知し、導くのに大変重要な、その中核にある価値観にあります。これらの価値観は、その専門職の歴史と現在も続く発展を反映しており、アメリカ図書館協会（**American Library Association: ALA**）の数々の方針声明によって、前進、拡大、再定義されてきました。これらに含まれるのは、「アクセス」「守秘義務／プライバシー」「民主主義」「多様性」「教育と生涯学習」「知的自由」「保存」「公益性」「専門性」「サービス」「社会的責任」、そして「持続可能性」です。

私たちの価値観を、ALA が「読書の自由声明（**Freedom to Read statement**）」「図書館の権利宣言（**Library Bill of Rights**）」「ALA の使命声明（**ALA Mission Statement**）」「図書館というアメリカの価値（**Libraries: An American Value**）」その他の文書ですでに述べている以上に雄弁に表現することは、不可能ではないにしても難しいでしょう。これらの方針は、ALA 評議会によって慎重に検討され、明確に表現され、議論され、承認されてきました。それらは必要に応じて、解釈、修正、または補足されています。これらの方針に具体的に表現された価値観は、時間が経つにつれて、司書の実践の基盤としてその大多数に受け入れられてきています。これらの価値観は、「ALA 方針マニュアル」から選ばれ、そこから直接引用されています。

アクセス

図書館によって直接的または間接的に提供されるすべての情報資源は、テクノロジー、形式または提供方法に関わらず、すべての図書館利用者が容易に、平等に、公平にアクセス可能でなければなりません。

（ALA 方針マニュアル B.2.1.14 情報アクセスに対する経済的障壁）

守秘義務／プライバシー

利用者のプライバシーを守り機密を保持することは、「知的自由」のために不可欠であり、司書職の倫理と実践の基盤です。

（ALA 方針マニュアル B.2.1.17 プライバシー）

民主主義

民主主義は市民が十分な情報を得ていることを前提としています。合衆国憲法修正第一条はすべての人に、自由に表現する権利と、またそこから引きだされる、憲法によって保護された他者の表現を受けとる権利を付与しています。公立の図書館は、サービス対象とするコミュニティのすべての人々のために、情報への自由で平等なアクセスを提供します。

(「図書館の権利宣言」の解釈、情報アクセスに対する経済的障壁)

多様性

私たちは、我が国の多様性を大切にし、サービス対象とするコミュニティに幅広い情報資源とサービスを提供することにより、その多様性を反映するよう努めます。

(ALA 方針マニュアル B.3 多様性、図書館というアメリカの価値)

教育と生涯学習

ALA は、学習社会の創造、維持、強化を推進します。あらゆるコミュニティの学校図書館、公立図書館、大学図書館、専門図書館が協力してすべての人々に生涯学習のサービスを確かに提供するように、包括的な取り組みを開始し、それを支援するべく、ALA は会員に教育者、政府関係者、各機関との協働を促します。

(ALA 方針マニュアル A.1.1 前文)

知的自由

私たちは「知的自由」の原則を支持し、図書館の情報資源を検閲しようとするあらゆる行為に反対します。

(ALA 方針マニュアル B.2 知的自由、ALA 倫理綱領第 II 条)

公益性

ALA は、図書館サービスの外部委託と民営化を議論する中で、図書館が民主主義社会において必要不可欠な公益性のある存在で、基礎的な機関であるというような、図書館の基本的な価値観を再確認します。

(1998-99 評議会文書 #24.1, 動議 #1)

保存

当協会は、すべての媒体および形式で公表された情報の保存を支持します。また、情報資源の保存が図書館と司書職の中心的役割であることを確認します。

(ALA 方針マニュアル B.8.3 保存、保存方針)

プロフェッショナリズム

ALA は、高等教育機関の大学院プログラムで教育を受けた専門資格のある職員による図書館サービスの提供を支持します。図書館サービスの社会的ニーズと目標に見合う、専門的な教育が受けられることは極めて重要です。

(ALA 方針マニュアル B.7.1 図書館情報学の大学院プログラム)

サービス

私たちはすべての図書館利用者に最高水準のサービスを提供します。私たちは、自らの知識とスキルの維持・向上、同僚の専門性向上に対する奨励、また専門職の潜在的な志願者への意欲を涵養することにより、専門職としての卓越性を目指して努力します。

(ALA 倫理綱領)

社会的責任

ALA は自らの広範な社会的責任を認識しています。ALA の広範な社会的責任は、次にあげる三点において明らかにされています。まず、司書職が社会の重要な問題を改善・解決するに際して貢献をし得る点。また、それらの問題について合衆国の人びとへの情報伝達や教育を助け、それぞれの問題について多くの見解や事実の検証を人びとに促す活動を支える点。そして、今ある重要な課題について、ALA の「立場表明」の中で、図書館と図書館サービスとの関係から、積極的に立場を表明している点。

(ALA 方針マニュアル A.1.1 使命における優先事項、目標)

持続可能性

ALA は、司書職の中核にある価値観に「持続可能性」を追加し、持続可能な図書館の発展を援助すべく力を注ぐことで、図書館のコミュニティを支えています。この援助は、環境的に健全で、経済的に実行可能で、社会的に公正な実践によりなされています。図書館は、自然の回復力、気候変動、持続可能な未来に関する、コミュニティの気づきを促す上で重要な、独自の役割を果たします。例えば、図書館はその環境フットプリントを削減するための措置を進んで講じています。

(ALA 方針マニュアル A.1.4 主要な組織的価値)

2019年1月、ALA 評議会において採択

謝辞 (Appendix by the translators) 翻訳にあたっては立教大学図書館のみなさんに多くの貴重なご意見をいただきました。ここに記して感謝いたします。(2021年2月)